

議 事 録

公開・一部公開・非公開				部 分 非公開 理 由	
				保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和7 (2024) 年5月1日 (木)
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課企画政策係
					職・氏名 主任 西村 一希 印
会議等の名称	令和7年度 第1回まちづくり審議会			開催日時	令和7年4月30日 (水) 午後 6時30分～ 午後 8時00分
				場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課			司会者	中村企画振興部長
出席者	馬場正人、花岡裕子、大谷美知子、尾山直樹、北沢達、小林利佳、土屋裕、重原君江、 清水千枝、羽田司、宮嶋千春、宮原則子、森澤隼門、安原龍太、依田繁二 中村企画振興部長、上野企画振興課長、荒井企画政策係長、笹川主査、西村				
欠席者					
議 題	(審議事項) 東御市宿泊交流拠点施設整備基本構想(素案)につ いて				
決定事項					
次回への検討 事項					
次回開催	(日時) 令和7年6月予定			(場所)	

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会	花岡職務代理者	(開会)
2 委員の委嘱		(市長より尾山委員および森澤委員へ委嘱を行う。)
3 会長あいさつ	馬場会長	市が検討している東御市宿泊交流拠点施設整備基本構想について審議していく。それぞれの知見などを活かしながら活発な意見交換をお願いしたい。
4 市長あいさつ	花岡市長	本日は、「東御市宿泊交流拠点施設整備基本構想（素案）」について審議をお願いしたい。本事業は地域の活性化および観光振興を目的とし、民間の力を活用した整備と運営について、昨年度からコンサルタント業者に調査を委託し、専門的な知見を取り入れながら検討を重ねてきた。この施設の整備が実現すれば、観光客の受け入れ体制の強化につながり、市内における宿泊場所の不足の解消や交流人口などの拡大が期待される。また、地域での雇用の創出や人と人との交流の促進を通じて、地域経済の活性化にも寄与すると見込んでいる。
5 諮問		(花岡市長より「東御市宿泊交流拠点施設整備基本構想（素案）」について諮問を行う。)
6 審議事項	中村部長 上野課長 荒井補佐	(東御市宿泊交流拠点施設整備基本構想（素案）について説明)
	委員	客層は一般客が対象で、スポーツ合宿に来るような学生などは考えていないのか。
	上野課長	施設はどなたでも利用していただきたいと考えている。
	委員	地域の中で連携するネットワークの構築が重要だと考える。
	上野課長	地域で連携することは需要であり、今後、連携の仕方についても検討していく必要があると認識している。
	委員	デマンドバスを施設の運用に活用していく仕組みを検討したら良いと思う。
	上野課長	施設の利用については、2次交通も含めて利用者をどのように迎え入れるかも検討していきたい。
	委員	この事業は国からの交付金があって動くものという認識でよいか。
	上野課長	ご認識のとおり。
	委員	実際に施設が完成するまでにどれくらいの期間を見込んでいるのか。
	上野課長	通常だと3～4年間かけて整備する見込みである。
	委員	事業が動き始めてから3～4年後という認識でよいか。
	上野課長	ご認識のとおり。
	委員	ツーリズムのトレンドは時間がかかるほど変わってってしまう。ただ、整備まで4～6年であれば問題ないかと思う。客層は、DBO方式で採用された企業がターゲットを絞るということか。
	委員	ワインとスポーツを楽しむ方の客層が同じであるのかという部分が気になる。海外であれば想像できる部分もあるが、日本の方でそのような客層があるのか。
	委員	周遊型観光を目指すのであれば、物販機能は必要なのか。例えば温泉街ではそれぞれの温泉施設に物販機能をもったことで、温泉街が衰退してしまったという例がある。
	上野課長	物販機能については、必要最低限のものを考えている。

	委員	地元食材を使ったレストラン機能のみでよいのではないかと個人的に考える。そこから地域と結びつけることで周遊が出来上がっていくと考える。
	委員	施設の指定管理料など市からの支出は考えていないのか。
	上野課長	初年度から市が委託料を支払うことは現時点では考えていない。
	委員	宿泊施設不足については、地域の長年の課題であった。交付金がとれたら着手するとの説明があったが、仮に今回の交付金とれなくとも、チャレンジし続ける意気込みをもって取り組んでもらいたい。
	委員	千曲川右岸の景色が綺麗と普段から感じているため、景観を楽しむという部分について、個人的には北御牧側に施設があってもよいのではないかと考える。また、子育て世代を引き入れやすい施設であることも必要であると考え。建設においても、地元潤いが出るような地域での取組みも念頭に置いてもらいたい。
	上野課長	地元企業の活性化という面も考慮し、条件を課していくなど検討していきたい。また、子育て世代等への取組については、当該施設が「交流」も一つのキーワードとなっているため、その機能を使っていただくことを視野に入れて検討していきたい。
7 その他	西村	(次回開催予定6月2日)
8 閉会	中村部長	(閉会)